

参考資料

◆障がい及び障がい者グループホームの役割について

障がい者グループホームとは、障がいや病気により生活を自分 1 人で行っていくことが困難な方が職員の支援や様々なサービスの利用により入所施設ではなく地域の中で共生を目指す障害福祉サービスの一つです。3 度の食事・入浴の提供・服薬管理・夜間と早朝の巡視・相談支援を行い、規則正しい生活の定着・仕事の継続を図ります。

障がいには、身体・精神（発達）・知的の 3 つの種類があります。次のような支援を行っています。

身体：衣服の着脱、階段の登り降り、入浴、トイレ、食事等。全て介助するのではなく訓練を交えてサポートし、介護予防・自立支援に努めています。

精神：対人関係（仲良く出来ない又は執着してしまう）の助言、医師の指導に基づく気持ちのコントロール支援

知的：障害者年金や工賃の計画的な使用のため、おこづかい制・買い物の助言など、本人の管理能力に合わせた支援。

障がいを持つ方は、周囲の理解困難による挫折感を経験してきた方が多くいます。時には大声をあげたり、物を投げたり、過度にふさぎこんだり、他人と同じ速度で行動や理解が出来なかったりなどです。そうした方の多くは、少し待ってあげる、少し丁寧に説明する、本人のやりやすい方法を探すなどのちょっとした支援により、精神科病院や入所施設や親元ではなく、グループホームで過ごす事が出来ます。

◆グループホーム運営状況

ア、入居状況（令和 7 年 3 月 25 日現在）

熊谷市内 10 棟、行田市内 1 棟、入居者数 48/50 名

イ、障害区分

平均区分 3.16 48 名 身体 1（重複） 知的 13 精神（発達） 35

ウ、近隣からのご意見や交流

- ・ゴミを捨てる場所が違うとのご意見。⇒場所は間違いは無かった。
- ・玄関前喫煙への苦情⇒謝罪し、喫煙所を設置。
- ・入居者がゴミ捨てを手伝うのを見て、自家製大根を頂く
- ・お隣の植木の当ホーム侵入を機会にみかんを頂くように。

エ、子ども達の応援（熊谷卓球フェスティバル）

（4）施設等やサービスの透明性・質の確保（管理者：松浦恵子、サービス管理責任者：馬庭充裕）

ア、当ホームの特徴（個別食事提供・お湯の入れ替え）

イ、利用者の日常生活の様子について（1 日の流れ）

ウ、BCP（業務継続計画）の策定状況

エ、各種委員会・研修会・訓練について

年度に 17 回の開催

グランドわおん 令和6年度、委員会及び研修及び訓練の予定と実績																			
名称	年間必要数	予定月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
①虐待防止委員会	1	9						○											
②身体拘束適正化検討委員会	1	9						○											
③感染対策委員会	4	9・11・12・1						○		○	○	○							
④虐待防止研修	1+新規採用時	6			○														
⑤身体拘束適正化研修	1+新規採用時	6			○														
⑥感染対策研修	2+新規採用時	9・12						○										○	
⑦業務継続計画研修	2+新規採用時	9・12						○										○	
⑧感染対策訓練	2	9・12						○						○					
⑨業務継続計画訓練	2	9・12						○						○					
⑩地域連携推進会議	1	3																	○

(5) 利用者の権利擁護

ア、虐待、事故、ヒヤリハットの報告

事故：転倒・転落 5 件。入居者同士の取っ組み合い 1 件。金銭紛失 1 件

ヒヤリハット：6 件、全て服薬提供の漏れ

イ、後見人等

預り金サービス利用者 3 名、補佐人・後見人利用者 3 名

7/28(日)熊谷市民体育館で第3回熊谷卓球フェスティバル開催🎾

埼玉県 プロ男子卓球チーム **#TT彩たま** の **#小林広夢** 選手 **#水野裕哉** 監督がプロの技術を参加者に教えました。

小中学生を中心に過去最多の166人が参加。

紙コップを使った的当てや選手相手のレシーブなど皆さん楽しくプレーしていました。

